

とりょう保育園に係る仮園舎の整備について

平成 26 年 8 月 26 日

保 健 福 祉 部

とりょう保育園舎を含む肴町分庁舎旧館について耐震診断を実施したところ、耐震基準を下回ったことが判明した。

このことから当初、耐震補強工事による対応を検討したが、保育中の工事は困難であることなどから、現園舎の耐震補強工事を断念した。

これまで、肴町分庁舎新館への移転や公立保育所民営化による園舎新築など様々な手法を検討してきたが、園児の安全を第一に、最も短期間で耐震性がある園舎への移転が可能となること等の理由により、プレハブによる仮園舎を整備し、一時的に移転をしようとするものである。

1 現園舎の状況とこれまでの対応

(1) 現園舎の状況

- ア 整備年 昭和 48 年新築
- イ 構造等 鉄筋コンクリート造（1階とりょう保育園分の床面積は 790.29 m²）
- ウ 耐震診断値 IS 値=0.551（基準は 0.6）で、震度 5 強の地震により倒壊の危険性
- エ 定員等 定員 45 人（0～2 歳児）、在園時数 53 人（平成 26 年 8 月 1 日現在）

(2) これまでの主な対応

- ア 耐震補強工事の検討（保育中の工事は困難であること等から断念）
- イ 保護者説明会の実施（平成 26 年 3 月）
- ウ 安全対策の徹底（避難訓練の実施や避難通路の確保、避難車の購入等について従前以上の措置を講じた）

2 仮園舎の整備手法

(1) 仮園舎の形態

- ア プレハブ園舎（軽量鉄骨造 2 階建、延床面積おおむね 600 m²）を現園庭内に設置する。
- イ 5 年間のリースとし、設計・建築を経て平成 27 年 9 月の供用開始を目指す。

(2) 仮園舎の整備経費等

- ア 設計業務委託 9,200 千円（平成 26 年 9 月補正予算提案額）
- イ リース料 95,000 千円

(3) その他

- ア プレハブであっても保育環境の低下を招かないよう、可能な限り施設の質の維持を図る。
- イ 仮園舎整備について、保護者説明会を全員協議会での説明後、開催予定。

3 今後のスケジュール

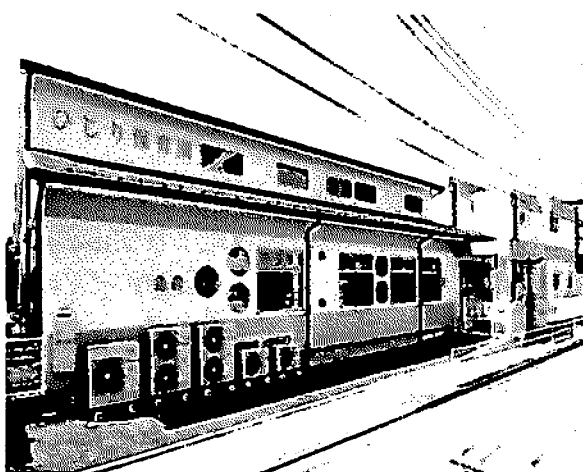
【スケジュール案】

平成26年 8月 26日	整備案を全員協議会に説明
8月下旬	保護者説明会の開催
9月	補正予算で設計業務委託料が議決
10月	設計業務委託の発注
平成27年 3月	設計業務委託の完了, 建設・リース料の議決
4月	建築工事の入札等
8月	建築工事完了, 引越等
9月	仮園舎供用開始

将来的な当園のあり方については、公立保育所民営化を検討する中で方向性を定めることとする。

【参考】プレハブ園舎の実例画像

秋田県立一保町園



秋田県立一保町園室内

